

## 商品などを発送した際の 宅配便代を支払った場合は？

慣れないうちは取引があったとき、どんな勘定科目で処理すればよいのか、悩むケースもあるでしょう。そうした勘定科目の取扱いについて、新人さんと一緒に、事例をもとに学んでいきましょう。



**新人さん：**宅配便代って、発送費で処理すればいいんでしょうか？

**先輩：**そうだね。当社では荷造発送費という勘定科目だよ。ただ、いつでも荷造発送費でいいわけじゃないんだ。

**新人さん：**え、そうなんですか？ 同じ宅配便代なら同じ勘定科目ではないんですか？

**先輩：**うん。商品が入荷したときのものか、出荷したときのものかによって違うんだ。

**新人さん：**なるほど、状況次第なんですね。

### ●解説

「荷造発送費」とは、得意先に商品等を届ける際に、包装・梱包して荷造りするための資材の購入費用（荷造

費）や、輸送手段を使って商品等を発送するための運賃（発送費）を処理する勘定科目です。「荷造費」と「発送費」を区分して処理する会社、また「荷造運送費」や「荷造運賃」等の勘定科目を使っている会社もあります。

税務上、各事業年度ごとにおおむね一定数量を取得し、かつ経常的に消費する包装材料等の取得に要した額を継続的にその事業年度の損金の額に算入している場合は、「貯蔵品」として資産計上せずに、「荷造発送費」として費用計上することも認められています。

他方、商品の購入や製品の製造等にかかる梱包や運送に要した費用は、原則として棚卸資産の取得価額に算入します。ただし、その支出が仕入額のおおむね3%以内の場合は、棚卸資産の取得価額に算入せずに、「荷造発送費」として販売費及び一般管理費に計上できます。●

### ケース1 商品の納品のために宅配便代を支払った場合

得意先への商品納入のための今月の宅配便代30,000円（税別）を現金で支払った。

<b>【借方】</b>	荷造発送費	30,000	／	<b>【貸方】</b>	現金	33,000
	仮払消費税等	3,000				

### ケース2 商品仕入に際して運賃等を支払った場合

主力商品を仕入先から仕入れ、仕入代金100,000円（税別）、引取運賃10,000円（税別）を、普通預金口座から振り込んだ。なお、振込手数料は300円（税別）であった。

<b>【借方】</b>	仕入	110,000	／	<b>【貸方】</b>	普通預金	121,330
	支払手数料	300				
	仮払消費税等	11,030				